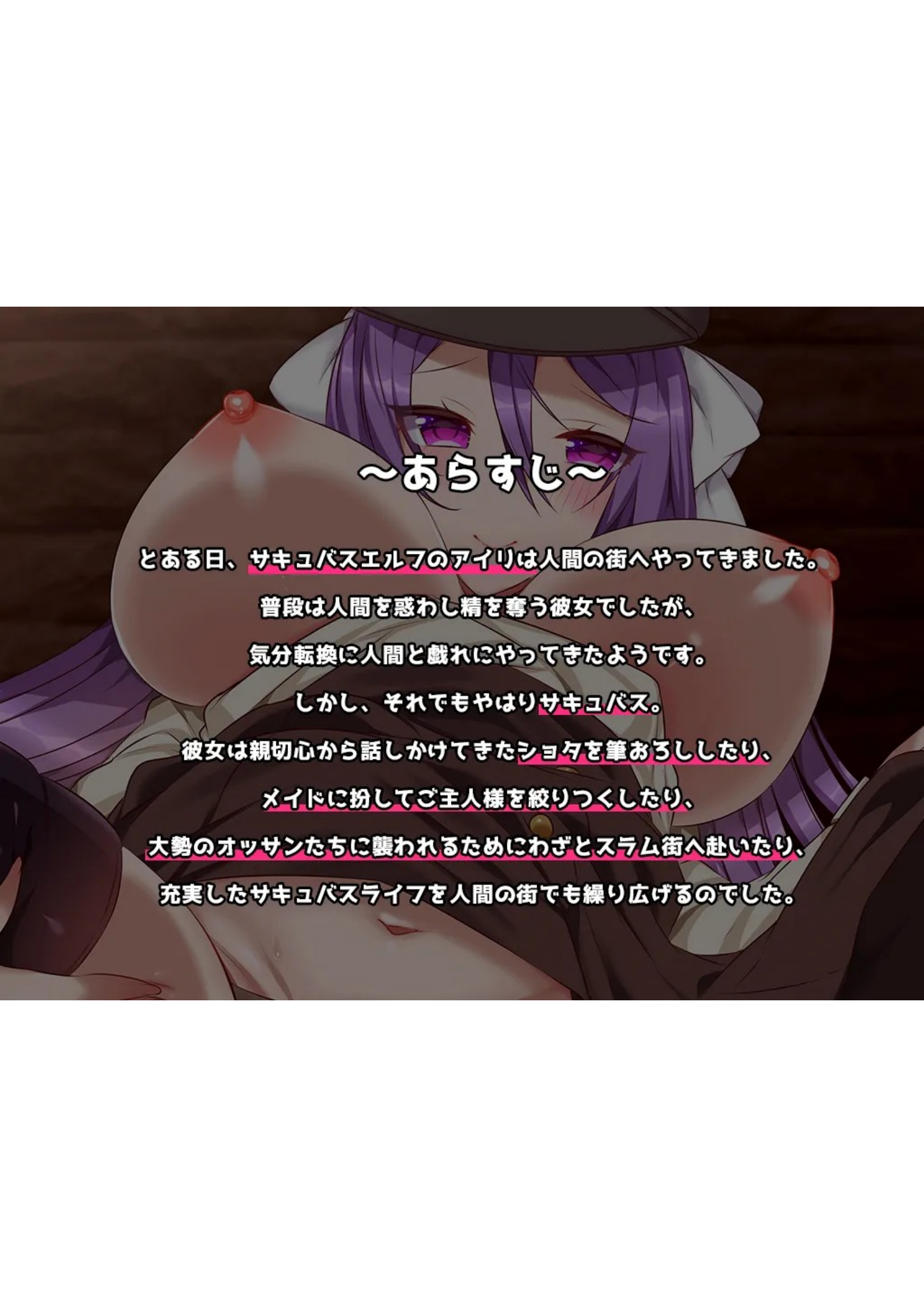


CG集

サキユバスエルフに  
**襲**われた!!





## ～あらすじ～

とある日、サキュバスエルフのアイリは人間の街へやってきました。

普段は人間を惑わし精を奪う彼女でしたが、  
気分転換に人間と戯れにやってきたようです。

しかし、それでもやはりサキュバス。

彼女は親切心から話しかけてきたショタを筆おろししたり、  
メイドに扮してご主人様を絞りつくしたり、  
大勢のオッサンたちに襲われるためにわざとスラム街へ赴いたり、  
充実したサキュバスライフを人間の街でも繰り広げるのでした。

▼キャラクターしょうかい

スキル  
魅了 魔眼  
幻覚 吸精

なまえ アイリ  
しゅぞく サキュバスエルフ

せいたい

精液を主食にしている  
サキュバスとエルフのハーフ。  
普通のサキュバスと比べて  
長寿だったり、回復力が高かったりと、  
エルフの恩恵を受けているものの  
本人は特に気にしていない。  
普段は森に住んでいて、  
気まぐれに街や人通りの少ない道に出向いては  
男性の精液をいただきに行く。

▼ 街

んんん♡♡

久しぶりに  
人間の街に来たけど  
やっぱり活気が  
あっていいわね♡

いつも森の中暮らしだから  
たまにはこうやって  
賑やかなところも楽しみたいし

…それに  
新しいザーメン奴隷さん  
を見繕うのも面白そう  
んふふふ♡

～シヨタ筆おろし編～



それにしても  
街の様子も大分変わったわねえ  
前来た時より  
そんなに経ってないはずなのに

人間の街は  
様変わりするのが早いわあ

「…あら？何かしら坊や？私に用？」

「『街に来たのは初めて』？」

初めて来たってわけじゃないけど、  
随分と様変わりしちゃったみたいで。

私の記憶と大分違ってて、ちょっと困ってたのよね。」

「え、『街を案内してあげる』？」

「そうねえ…、せっかくだから、

お言葉に甘えちゃおうかしら。

それじゃ坊や、案内を頼めるかしら？」

今日は一日、坊やが私の専属ガイドさんね。

私の名前はアイリ。宜しくね、うふっ♡」



「…ふう。結構歩いたわね。

ありがとう坊や。

大分今の街にも詳しくなったわ。

凄いわねこの街は。ちよつと見ない間にすごい変わっちゃって。

一人であてもなくフラフラしてたら、きつと迷子になっていたわ」

「これは、お礼よ。ちゅっ♡」

「あらあら、お顔が真っ赤よ坊や。可愛いわね。うふふっ♡

…ねえ坊や。もっとすごいお礼をさせてもらえないかしら？」

「ちよつと人目の多いところだとできないから、  
ちよつとその路地裏に行かない？」



「…」だったら、人目に付きづらいわよね」

「それで坊や、早速なんだけど…」

女の子とエッチなことをした経験あるかしら？」

「…うふふつ、『ない』かぁ。そうよねえ。」

頬にキスされてお顔真っ赤にするような

坊やじゃ、あるわけないわよねえ」

「それじゃあ…♡アイリさんが特別に、

エッチなものを見せてあげようかしら♡」

「ねえ坊や。もしかして坊やは無意識かもしれないけど、

ずうっとアイリさんのおっきな胸、見てたわよ？」

あらら、別に責めてるわけじゃないのよ？」

男の子だったら、おっきな胸に興味があるのは自然なもの♡」



「でもお…どうせなら、  
直接おっぱいを見てみたくない？」

「白くて、柔らかくてえ、  
でも張りのある、瑞々しいおっぱい…。  
ねえ、興味あるでしょう？」

「…うんうん。素直な子はアイリさん、大好きよ♡」



それじゃあ  
見せてあげるわね

はあい、どうぞあー  
楽しみにしてた  
おっぱいですよあー♡



たーん♡♡

たーん♡♡

うふふっ♡  
すごい食い入るように  
アイリさんの  
おっぱい見てるぅ♡

初めての生おっぱい、  
どうかしら？  
興奮するわよね？



ああん、いいわあ♡  
こんな風に視線を感じるもの  
悪くないわねえ

いつも私が  
苛めてばかりだったから  
こんな感覚は新鮮よお♡

…え？うふふっ♡  
今のは何でもないわよ  
気にしないで

それより  
「」もよく見て？



おっぱいの先っちょで  
尖がつてる  
真っ赤な乳首い♡

おっぱいは  
透き通るような真っ白なのに  
この先っちょだけ  
真っ赤なのって  
なんだかエッチでしょ？

フムッ♡

うふふ♡  
坊やの目が  
先っちょに集中してるの  
感じるわよあ？  
もっともっと硬くなっちゃう♡

ぎゅうつと引つ張ると、  
おっぱいも一緒に  
伸びちゃってえ…  
すっごくエッチなお♡



そしておっぱいも、  
こんなに揉み揉みすると  
指が沈み込んでくらくらい、  
すっごく柔らかいの♡

ぐにぐに揉み込んでえ  
形がこんなに  
変わっちゃうなんて♡  
とってもエッチ…♡

うふふっ♡  
坊や、片時も目を  
離さないわねえ  
いいわよ♡

それじゃあ  
アイリさんもっと  
見せてあげる…♡



このスカートの中  
坊やも興味あるでしょ？

スカートの中はねえ  
こんな風にな  
つてる…の…♡

どうかしら？  
アイリさんの下着…  
もうぐしょぐしょに  
濡れてるの  
分かるでしょ？

女の人ね  
気持ちよくなると  
こうやって  
濡れてきちゃうの♡



このお股からとろとろおって  
蜜みたいなお汁が垂れてきて  
男の子を誘惑しちゃう  
イケない匂いが  
出てきちゃうの♡

ねえ、妨やも匂うでしょ？  
この匂いを嗅ぐと  
男の子は堪らなく  
エッチな気持ちになっちゃう

妨やも、そうよね？  
うふふっ♡

聞くまでもないわね  
そんなエッチな顔をしてちゃ  
もう答えるも同然なもの

それでね？  
この下着を取っちゃうと  
お股はこんな風にな  
ってるの…よ…？

ねえ、見えるかしら？

このぐつしよぐしよに  
なったお股の中心に  
割れ目が走ってるの…♡



このエッチなお汁は  
「」から出てるのよお？

ここにはね  
男の子のおちんちんを入れて  
気持ちよくなる場所なの

坊やのおちんちんも  
ここに挿入るかも  
しれないわねえ

ねえ、もつとよく見て...？  
よく見えるように、  
くばあつて広げてあげる





見える、かしらあ？  
指で割れ目を開くと、  
この割れ目が穴に  
なってるのが分かるでしょ？

ここに男の子のおちんちんを  
ジュボジュボジュボジュボ  
って抜き差しするの♡

そっすうともつと  
エッチなお汁が  
ドロドロに溢れてきて  
おちんちんを  
包んじゃうの♡

くほま♡♡♡♡♡



この穴の中のお肉やヒダヒダ、  
それにこの穴の奥にある  
子宮口で亀頭をキュッキュッと  
締め付けちゃうと...♡

お汁だけじゃない

男の子はみんな  
我慢できずに  
射精しちゃうの♡

クッ

クッ



ねえ、想像した？

自分のおちんちんが、  
アイリさんの割れ目に…  
おまんこに  
挿入っちゃうところ♡

きつと気持ちいいわよ？  
この世で一番の快楽を  
味わえると思うわ♡

それを知ったら  
もう二度と引き返せない…

エッチをしなきゃ  
生きられない  
身体になっちゃうわよ♡

…なあってね♪

そんな怖いこと  
あるわけじゃない  
今のはアイリさんの  
冗談よ？うふふっ♡



怖い思いを  
させちゃったお詫びに  
坊やおちんちんも  
気持ちよくしてあげるわね？



うふふっ♡やつぱり♡  
ズボンの上からでも  
分かるくらい  
すっごい勃起してる♡

アイリさんの  
おっぱいとおまんこ見て  
こんなに興奮しちゃったんだあ

わ・る・い・」」♡

そんな悪い子は  
ごうよっ！

ああん♡

おちんちんがすごい勢いで  
ブルンッって飛び出てきたわぁ♡  
なんて活きがいいのぉ♡

しかも

坊やの身体には不釣り合いなほど  
すっごくおつきい…♡  
アイリさん、  
堪らなくなっちゃうわぁ♡

あら？♡でも坊や  
まだおちんちんが  
皮被ったままねえ  
もしかして…

まだオナニーも  
したことないのかしら？

…あらあ、オナニーも  
まだだったのね

ひんひん



それじゃ、アイリさんが  
エッチな手ほどきをして  
あげなきゃいけないわねえ

まずはあ…  
皮を剥き剥き  
しましょうねえ♡

手で剥くと痛いから  
お口で剥いて  
あ・げ・る♡

まずは軽うく  
おちんちんを  
涎いっぱい  
舌で濡らし、てえ…♡

ちゅい  
ちゅい





うふふっ♡  
坊やのおちんちん  
アイリさんの涎で  
ベットベット♡

こんなに濡れてるなら  
もう大丈夫ね  
それじゃ  
剥いてあげるわよお

皮を唇で啜えて  
ゆっくりゆっくり  
めくっていく、とお...

いっ

ぶい

はあい♡  
坊やのおちんちんが  
大人おちんちんに  
なりましたあ♡

すっごく立派よお♡  
ああん♡  
亀頭もピンク色をしてて、  
すっごく綺麗…♡

もう、食べちゃおっとな  
いただきまーす♪

ムム...





あむっ…♡

んんうゝ  
美味しいわぁ♡  
坊やおちんちん

またオナニーも  
したことなかった  
童貞新品おちんちんを  
ペロペロジュルジュル  
してると思うと…

すっごく気分が  
昂ってきちゃうわぁ♡



君の初フェラの相手は  
アイリさんなのよお♡

よおつく  
覚えておいてねっ

…どうしたのお  
坊や？

そんな焦った  
お顔をしちゃって



えっ  
『おしっこ出ちゃいそう』  
んふっ♡それはね…  
おしっこは違うものの

でも、おしっこみたいに  
すっごく気持ちいい  
もののよぉ♡

アイリさんのことは  
気にしないでいいわぁ  
そのまま、アイリさんのお口に  
おしっこ…♡  
んふっ♡出っぺん♡







ねえ坊や  
アイリさんの  
お口を見てえ♡

坊やが出した  
真っ白おしっこが  
このお口にたあくさん  
溜まってるの、分かるでしょ？

どろろ

クアッ

はっ

はっ  
はっ  
はっ

男の子はね  
気持ちよくなると  
こっぴうエッチな  
おしっこを出すのよ♡  
なるのよ♡

勉強になったかしら？



そして  
そんなおしつはあ...

ズグニ

はああん...♡  
美味しかったあ

そ、こうやって  
ごっくんしちゃうの♡  
女性の嗜みのよ♡

ところで  
坊やは初めての  
真っ白おしっこ  
どうだった？

アイリさんに感想  
聞かせてほしいなあ♪

∴『頭が真っ白になるほど、  
すごく気持ちよかった』？

あらあ、嬉しいこと  
言ってくれるわねえ  
アイリさんも頑張って  
フェラしてあげた  
甲斐があったわあ♡

で・もお…  
まだ坊やのおちんちん、  
かたあいままよね♡

ねえ、どうしたい？  
坊やの素直な気持ち  
聞かせてほしいなあ♪

…『もつと真っ白  
おしっこしたい』？  
うふふっ♡  
もお可愛い坊やねえ♡

クネクネ♡

それじゃあ  
今度はアイリさんが…  
筆おろしして  
あげようかしらね♡

▼ お屋敷

はじめまして  
ご主人様

私、本日よりご主人様の  
メイドとしてこのお屋敷で  
働かせていただくこと  
になりました  
アイリと申します

今後とも  
どうか宜しく  
お願い致しますわ♡

～メイドご奉仕編～

…はい、街で見かけた  
張り紙を見て参りました

見ての通り私は  
エルフの里の出身なもので  
色々と物知らずなため…

このようなお屋敷で  
働かせていただければ  
都会のこと学べる  
良いきっかけかと  
思ったのです



もちろん  
ご主人様のお世話には  
全力を尽くす所存です

こう見えても  
里の中では家族や  
部族のみんなの  
お世話係でしたのよ?

ご期待くださいませ  
ご主人様♡



上手くいったわね  
私のメイドっぷりも  
なかなかじゃないかしら？

ご主人様も  
すっかり信用  
してくれてるわぁ

面接のときは面倒だったから  
魔法を使って採用させて  
もらっちゃったけど

あんまりそれを使うのも  
興が冷めちゃうのよね〜

あくまでのメイドの  
振る舞いは  
私自身のセンスで  
やらなくちゃ





…獲物を狙うサキュバスは  
ジツと機会を待って  
確実に搾り取るの♡

そのためには  
獲物を油断させるのも  
必要だからね♡

「ご主人様、食後の紅茶をお持ちしました。  
はい、それではこちらに置いておきますね」

「…どうされましたか、ご主人様、

『屋敷にはもう慣れたか？』ですか？

はい、まだ半日ですが先輩方には大変良く指導していただきました。  
ここのなら、今後もしっかり働いていけそうです。

それに、ご主人様も大変お優しくて素敵なので、  
一緒に過ごせるのはとても楽しいですよ？」

「…この後の予定、ですか？いえ、特に何ありません。

研修なども終わりましたし、あとは明日に備えてお休みしようかと…」

「お仕事、ですか？」

「はい、ご主人様からのお願いとあれば、このアイリが全身全霊で承ります。  
どんな内容でしょうか？」



「…エ、エツチなご奉仕です、か。」  
「い、いえ、問題ありません。」  
メイドになったのですから、「こういうこともお仕事の内ですよね。」  
「エルフの里でも、都会でメイドをする」ということをなせられると、  
よく言われていましたので…。」



で、でもまず、  
何から始めれば  
いいでしょうか？

『ズボンからおちんちんを  
取り出せ』ですね  
分かりました、  
それでは失礼、しますね…

よい、しょっ、と…

こ、これがご主人様  
ですか…

すごく、大きいですね…  
男の人の…を  
マジマジと見るのは  
初めてです

そ、そんなことはありません  
里にいた時も  
男性との経験は  
ありませんでしたし



ご主人様が  
初めて、ですよ…？  
それで次はどうすれば  
宜しいですか？

『おっばいで  
おちんちんをしごけ』  
ですか…？  
もしかしてパイズリ  
というものでしょうか？

「メイドさんプレイは楽しかったわね」  
「サキュバスが人間にご奉仕するなんて、  
倒錯的で燃えちゃったわあ♡」

「でもお、ちよおつとあの人が用意した衣装は  
地味だったんじゃないかしら？  
もつとこう、エッチするためのスケベなデザインでも、  
アイリさんは良かったのよ？」

「あの主人様も結構なドスケベさんだったのに、  
服のセンスはイマイチだったわねえ。ホント残念…はあ。」

「次は…そうねえ、ちよつとコッテリ濃厚なザーメンが飲みたいわね。  
こう、脂ぎった性欲ギトギトのゼリーみたいなくっさい精液♡」

「そついうのを持ってそつなのは、  
やっぱりあそこにいる人たちじゃないわよねえ…♡」

～輪姦？編～

## ▼ スラム街

んん、物欲しそうに私を  
チラチラ見る汚いオジサンたちがいつぱあい。  
やっぱ、スラム街って

こういう人たちがたくさんいるわよねえ。

女っ気のないこんな寂れた場所に、

アイリさんみたいな超絶美女が現れたら、

チラ見しないわけにはいかないでしょ？

見てるだけじゃなくて、手を出してくれてもいいんだけどなあ。

アイリさんから行ってもいいけど、

ここはやっぱ女性から襲われるのが、

マナーっていうものでしょ？

まだかしら、まだかしら。



悪そうなオジサン  
きたー！ーッ♡

実は道に迷ってしまつて  
ここが何処なのか  
私も分かっていないんです…

え、えっと、ですね…

私も早く  
街に戻りたくて…

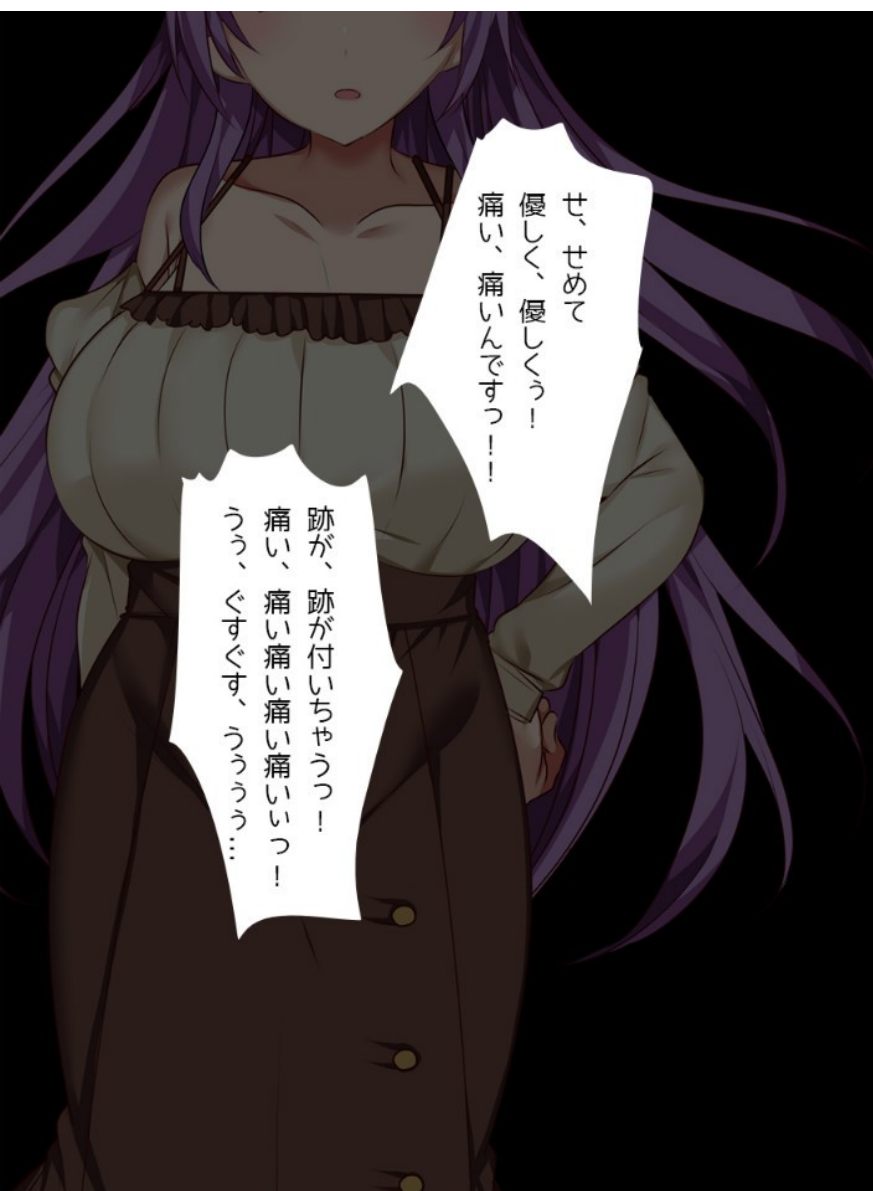
な、何をするんですか…？  
や、止めてください！



は、離してください！  
離してっ！

こんな、狭くて  
暗いところに  
私を押し込めて  
一体どうしよう  
というのですか…？





きやあああつ!?  
や、やめ  
やめてえええつ!!

い、痛い、痛いのお!!  
皆で一斉に、私の胸を  
乱暴に揉みしだいてえ!

そんな、胸  
揉まないでくださいっ!

せ、せめて  
優しく、優しく!  
痛い、痛いんですっ!!

跡が、跡が付いちゃうっ!  
痛い、痛い痛い痛いっ!  
うう、ぐずぐず、うううう...

ひっ！？そ、そんなモノ  
見せつけないでくださいっ！  
い、嫌だ、気持ち悪い…っ！

こ、これをどうしろって  
いうんですか？

し、『しげ』？  
手で握れっというんですか！？

あ、い、いえ、すみません  
言い過ぎました…

ズルズル

うう、ううう…  
ああ、硬くて熱くて  
臭い…っ

手が、火傷しちやいそうです…  
こんな固くそそり立たせて  
血管まで浮き上がらせて…

そんなものを  
私に扱わせるなんて  
ひどいよ…

うふふっ♡

私の演技力もなかなかね♡  
男を弄ぶのって楽しいわぁ♡





## ～トラックリスト～

### 1. ショタ筆おろし編

『ねぇ坊や。もっとすごいお礼をさせてもらえないかしら?』

### 2. メイドご奉仕編

『新人メイドのアイリに、ご主人様の熱いのをください』

### 3. 輪姦?編

『嬲られて、犯されるなんて、ひどいです』

## ～CG集～

基本CG11枚

文字あり差分約250枚